南山っ子通信

長崎南山小学校
学校生活だより
令和元年６月号
担当（山田）
NO.80

フランシスコ教皇様

６月２９日は十二弟子のリーダーであった聖ペトロの祭日です。この日，全世界のカトリック教会では聖ペトロの後継者である教皇様のために特別にお祈りを捧げます。現在の教皇様はアルゼンチン出身のフランシスコ教皇様，聖ペトロから数えて２６６代目の教皇様になります。

フランシスコ教皇様は，２０１３年の３月に就任以来,「恵まれない人々・貧しい人々のための教会」の実現を訴えられており，気さくな人柄で庶民派としても広く知られ,高い人気があります。そのフランシスコ教皇様ならではの心温まるエピソードをご紹介します。

どんなことでも教皇様に質問ができるという催しに参加した幼い少年イマヌエルには，どうしても聞きたいことがあった。４人の子どもたちに洗礼を受けさせながら自分自身は神様を信じないまま少し前に死んでしまったお父さんのことである。子どもたちには良い人であったが，信仰心はなかったお父さん。そのお父さんは天国に行けないまま彷徨い苦しんでいるのではないだろうかと不安に思っているイマヌエル少年。順番が回ってき，勇気を出してマイクの前に進み出はしたが，お父さんのことを思うと不安が一層募り，「やっぱりできません。」と言いながらとうとう泣き崩れてしまった。

それを見たフランシスコ教皇様は，少年をステージに引き上げ，「わたしの耳元にささやいてごらん。ささやいてくれるだけでいいんだよ。」と言われ，それから少年を抱き寄せて，耳元でささやく話の概要を聞いてあげた。

そして，「パパは天国にいるの？」という少年イマヌエルの質問にフランシスコ教皇様は，次のように答えられた。

「君が皆の前で泣いた勇気は，君の心の中にあるお父さんへの愛から来ているんだよ。子どもがお父さんのことを良い人だというのはすばらしいことだ。このように育てた君のお父さんは確かに良い人，正しい人だった。信仰心はなかったが，息子たちには洗礼を受けさせた，正しい心の持ち主だった。神様は，そんな君のお父さんを決して遠ざけはしない。神様は，君のお父さんのことを誇りに思っているよ。さあ，お父さんと話してごらん。お父さんに祈りなさい。ありがとうイマヌエル。君の勇気に感謝している。

このエピソードは，「**パパは天国にいるの？**」で**検索**するとインターネットで見ることができます。フランシスコ教皇様の人柄がよく表れている動画もぜひ見ていただきたいと思います。

フランシスコ教皇様は，今年の１１月下旬に来日が予定されています。天皇陛下との会談や東京ドーム，長崎ビッグNスタジアムでのミサも検討されているようです。また，核兵器廃絶に向けた平和のメッセージを長崎から伝えることも検討されています。

今年８３歳になられる教皇様がこれからも健康に恵まれ，元気で聖務を果たしていくことができるように祈りたいと思います。

基本的な生活習慣を土台に

５年生の理科に発芽の学習があります。「植物の発芽」とか「種が芽を出す」とかいう表現から発芽の時に種から最初に出るのは「芽」のような印象を受けますが，実際は多くの植物では最初に出てくるのは「根」です。「根」は地球の中心に向かって伸びる性質があるので，種がどんな向きに埋まっていても，あるいは光が全く差さない暗闇の中でも「根」は必ず下に向かって伸びていきます。もし「芽」が「根」よりも先に伸びていったとしたら支えるものがないので頭でっかちとなって倒れてしまいます。「根」は，後から出てくる「芽」を支え，その後の成長を助けるしっかりとした土台となるのです。

わたしたち人間の成長でも同じようなことがいえるようです。「知識」ばかりを伸ばそうと勉強・勉強・点数・点数と一生懸命になったとしたらどうでしょうか。それこそ頭でっかちになって身体的にも精神的にも不安定な生活を強いられることに違いありません。勿論勉強は大事です。特に，小学生の時期に学習の習慣をつけておくことは必要なことです。しかし，それよりも先に身につけておかなければならない必要なものがあります。それは，わたしたちの成長を支えるための土台となる基本的な生活習慣のことです。「早寝・早起きをすること」,「当たり前に挨拶ができること」,「好き嫌いをしないでしっかりと食事をとること」,「お手伝いをすること」,「片付けをすること」「時間を守ること」等々。

先日全校で取り組んだ「南山生活リズムカード」は，以上のようなことをふり返ってみるきっかけにしてほしいというねらいから実施しています。

現在の実情をふり返るばかりでなく，１０年先，２０年先の成長のようす，人間づくりを頭に入れて，お子様といっしょに基本的な生活習慣・生活リズムの大切さについて考えてもらいたいと思います。

♧♧ 教 室 紹 介 ♧♧

５年１組　担任　名切正彦 先生

①「気配り，目配り，思いやり」と，②「全力発揮」の２つが５年１組のクラス目標です。困っている人がいたら自然と手を差し伸べられるクラス，得意なものにもそうでないものにも神様からもらった能力を全力で使うクラスを目指しています。

体育館が使える「みんな遊び」の日には，体を動かすことが大好きな男子チームといつも仲よく一緒に遊んでいる女子チームとに分かれて，ドッジボール大会をしています。勿論，先生は女子チーム。明るく元気で笑顔が絶えない子どもたちは，「みんな遊び」にも夢中，毎週大盛り上がりです。

今，理科では「メダカを育てよう」の学習に入っています。１０匹育てているメダカの水槽を毎日熱心に観察を続け，お腹に卵をぶら下げている雌や，水草に産みつけられた卵の発見に毎日のように大喜びしています。現在，８匹の赤ちゃんメダカが誕生し，クラスの飼育熱は一層高まっています。「メダカを育てよう」の学習を通して，命を育てる尊さも学んでもらいたいと願っています。

♪ 十二弟子の名前

１．ペトロとアンデレ　ヤコブとヨハネ
フィリポとトマスとマタイたち
ヤコブとタダイ　シモンとユダ
バルトロマイが　十二弟子

２．弟子たちは　イエスさまの
お手伝いをしたのです
ぼくたちも　イエスさまの
お手伝いを　いたしましょう